

就農コース受講生募集

プロ農家をめざす方の研修！

就農に必要な総合的な知識と技術を習得する実践研修

魅力 その1

ビニールハウスと露地栽培で生産から販売までの経営を研修



施設：ビニールハウス



ハウス栽培



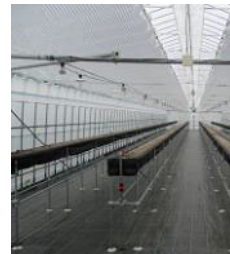
露地：農場 約300m²

魅力 その2

経験豊富なスタッフによる座学研修と懇切丁寧な栽培技術指導



農業座学研修



いちご高設施設



環境制御施設

魅力 その3

高設いちご栽培・トマト等の周年栽培・有機栽培も研修可能

魅力 その4

就農へ向けた支援
(国就農支援制度の手続き指導、就農地の斡旋など)

募集人員 25名 ※個別面接により選考

受講料 150,000円 (1年間)

他に野菜栽培にかかる資材費等が必要

(研修内容により30万円～100万円程度)

募集期間 5月29日(金)～7月17日(金)

兵庫楽農生活センターホームページから所定の申込書をダウンロードしてお申し込み下さい。

〒651-2304 神戸市西区神出町小束野 30-17

TEL 078-965-2047 FAX 078-965-2659 (水曜日 休園日)

兵庫楽農生活センター「第17期就農コース」受講生の募集！！

(公社)兵庫みどり公社の兵庫楽農生活センター(神戸市西区)では、新たに農業経営を目指す人を対象に、総合的な知識や技術を習得するための研修を行う「就農コース」の受講生を募集します。

1 募集人員

- 25人 1.いちご高設栽培コース4名 2.果菜類周年栽培コース8名 3.無加温施設栽培コース8名
4.有機栽培コース5名 (兵庫県内で就農を希望する方を優先)

2 募集期間

令和2年5月29日(金)～7月17日(金)(必着)

3 申し込み手続き

希望者は、受講申込書に必要事項を記載し、必要書類を添付して、兵庫楽農生活センターに郵送又は持参下さい。

4 受講生の選考

応募人員に関わらず事前に個別面接を行い、受講生を決定。

5 受講料

150,000円/1年間 (受講決定後振り込み)(消費税込み、資料費、農業機械燃料代、水代等含む)
※農業次世代人材投資資金等就農支援制度の活用可(要件等あり)
理由の如何に関わらず、お納めいただいた受講料は返納できません。

6 研修の概要

目的	就農に必要な総合的な知識と技術を習得する実践研修
対象者	新たに農業経営を目指す人
募集人員	25人 (兵庫県内で就農を希望する方を優先)
研修期間	1年間 (令和2年8月11日～令和3年8月31日) 予定
研修日	週5日以上 (9:00～17:00) ※販売する野菜の栽培管理のためほぼ毎日来校が必要
研修内容	講義: 就農に必要な総合的知識の講義・実習 (約70回程度) 実習: 農場(露地) 約300㎡とパイプハウス1棟(250㎡)で野菜を栽培・販売
受講料 (受講決定後振込)	150,000円/年 (消費税込み、資料費、農業機械燃料代、水代等含む)
指導員	楽農学校指導員ほか
研修等の概要	農業の基礎、土づくりと肥料、作物栽培の基本、野菜の栽培、病害虫防除、農薬の基礎知識、草花・果樹栽培の基礎、加工実習、農協経済事業、農業情勢・農村社会・農地法概要、野菜栽培実習、農業機械実習、農家等現地調査、農産物の流通販売、農業簿記 有機JAS認証 国際水準GAP 環境制御技術 ほか

7 研修の条件

- 種苗費・肥料・農具等は、各自の負担が必要です。生産物は研修生に帰属します。
- 研修期間中の事故(けが等)は自己の責任で処理することとし、各自で傷害保険等の加入を条件とします。当公社に補償、賠償の請求はできません。
- 学校施設内では、指導する肥料・農薬等資材以外の持ち込み利用は一切禁止します。

8 研修に利用する施設等の概要

農場、農地	農地(露地): 約300㎡/人 ビニールハウス: 約250㎡/人
農業機械	トラクタ、管理機、運搬車、防除機、草刈り機、等
その他施設	研修室、休憩室、更衣室、作業棟、図書室 ほか

9 研修場所

兵庫楽農生活センター(神戸市西区神出町小東野)
JR明石駅から神姫バス三木・社行、又は地下鉄西神中央駅から神姫バス三木行きに乗車し、「老ノ口」バス停で下車、北東方向に徒歩約15分

申込書の送付先

〒651-2304 神戸市西区神出小東野30-17
(公社)兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター 楽農学校課

問い合わせ先(※問い合わせは水曜日(休園日)以外でお願いします)
(公社)兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター 楽農学校課
TEL 078-965-2047 FAX 078-965-2659
メール gakkou@forest-hyogo.jp <https://hyogo-rakunou.com>

※募集内容等の詳細は、ホームページ <https://hyogo-rakunou.com> をご覧ください

研修コースの概要

1. いちご高設栽培コース (高設栽培施設を使ったいちごの促成栽培及び露地野菜栽培)

- ・約 230 m² (6.5m×35m) のハウスで、いちご高設栽培 (地上 1m くらいの高さで腰をかかめないうえに栽培できるやり方) し、栽培技術を習得する。
- ・9 月頃に苗を植え付け、灯油暖房機や炭酸ガス発生機で温度や湿度、CO₂ 等を制御し、12 月から 5 月の出荷を目指す。
- ・いちご苗や肥料、資材の購入、暖房用灯油、電気代の負担が必要。(概算 100 万円程度を見込み)
- ・出荷期間はほぼ毎日、収穫と出荷が必要。
- ・出荷先は直売所、スーパーマーケット等で自身による交渉が必要。
- ・露地野菜は 300 m² で自身で栽培計画をたて栽培、出荷をする。

2. 果菜類周年栽培コース

(暖房設備、養液土耕装置を使ったトマト周年栽培またはいちご促成栽培及び露地野菜栽培)

- ・約 230~260 m² (6.5m×35~40m) のハウスで、トラクタでうねをたてて、トマトまたはいちごを栽培し、技術を習得する。
- ・トマトは 10 月頃に苗を植え付け、1 月~6 月の出荷を、いちごは 9 月頃に苗を植え付け、12 月~5 月の出荷を目指す。
- ・灯油暖房機や炭酸ガス発生機で温度や湿度、CO₂ 等を、養液土耕装置で水と肥料を制御しながら栽培する。
- ・苗や肥料、資材の購入、暖房用灯油、電気代の負担が必要。(概算 100 万円程度を見込み)
- ・出荷期間はほぼ毎日収穫と出荷が必要。
- ・出荷先は直売所、スーパーマーケット等で自身による交渉が必要。
- ・露地野菜は 300 m² で自身で栽培計画をたて栽培、出荷をする。

3. 無加温施設栽培コース

(ビニールハウスと露地ほ場を使った葉物野菜・トマト等の無加温果菜類の栽培)

- ・約 230~260 m² (6.5m×35~40m) のハウスで、トラクタでうねをたてて、葉物野菜、トマト、いちご等を栽培し技術を習得する。
- ・葉物野菜は 9 月~2 月に栽培し出荷、トマトは 1 月に種をまき、3 月に植え付け、5 月~6 月の出荷、いちごは 10 月に植え付け、1 月~5 月の出荷を目指す。
- ・苗や種、肥料、資材購入、換気扇等電気代の負担が必要 (概算、最低 30 万円程度を見込み)
- ・出荷期間は収穫、出荷、栽培期間はハウス管理が必要
- ・出荷先は直売所、スーパーマーケット等で自身による交渉が必要。
- ・露地野菜は 300 m² で自身で栽培計画をたて栽培、出荷をする。

4. 有機栽培コース

(ビニールハウスと露地ほ場を使った農薬・化学肥料を使用しない野菜類の栽培)

- ・約 230～260 m² (6.5m×35～40m) のハウスで、トラクタでうねをたてて、葉物野菜、トマト、いちご等を栽培し技術を習得する。
- ・葉物野菜は9月～2月に栽培し出荷、トマトは1月に種をまき、3月に植え付け、5月～6月の出荷、いちごは10月に植え付け、1月～5月の出荷を目指す。
- ・苗や種、肥料、資材の購入、換気扇等電気代の負担が必要(概算、最低30万円程度を見込み)
- ・肥料はJAS有機基準に適合したものを使用する。
- ・出荷期間は収穫、出荷、栽培期間はハウス管理が必要
- ・出荷先は直売所、スーパーマーケット等で自身による交渉が必要。
- ・露地野菜は300 m²で自身で栽培計画をたて栽培、出荷をする。